

件名	第2回松崎地域駅前活性化協議会
日時	2017年5月22日(月)19:00~20:30
場所	中央公民館1階会議室
出席者 (敬称略)	委員:速水、本庄、谷口、上治、川崎、立木、岸田、清水、安部、河井 湯梨浜町役場みらい創造室 山根、岩崎、嶋田 地域おこし協力隊:新田、辺(記録)
決定事項 (合意事項)	
次回までの 調整事項	・足湯設置に関する費用、許可について再検討
配布資料	平成29年第2回松崎地区駅前活性化協議会レジュメ、松崎駅前活性化協議会第三回の重点事項まとめ、お試しDo!(ドゥ)進捗状況

(会長)旧Aコープの活用方法について事務局から説明を受けた後、お試しDo!(ドゥ)の進捗状況を報告いただきたい。

- 【A一人】助け合いやコミュニティづくりに取り組むことが最も重要であることを話し合った。地域でのつながりや支え合いをどのように創り出していくのか。
- (事務局)資料として添付しているが、今年度国の交付金を頂き、旧Aコープの改修を予定している。まだ、正確な配置ではないが、図面右側にカフェゾーン、活動ゾーン、あそび場ゾーンを配置している。買い物ができる市場(マルシェ)、カラオケを提案しており、概ね皆さんからいただいたご意見は網羅しているので、今後設計に進めたいと考えている。
- (委員)着工、施工時期はいつごろか。
- (事務局)これから改修の設計を委託していく。入札等すると時間がかかるが、遅くても今年度中に改修予定。詳細は未定。
- (委員)9月頃に改修をスタートしたいという話だったが、それは変わらないか。
- (事務局)できればそのスケジュールで進めたいと考えている。予算もあるので、予算に収まる範囲内で進めたい。
- (委員)農協との話では、旧Aコープの建物を借りたり、駐車場を借りるという話はしているが、工事に着手する段階から賃料を払うということになっている。時期がずれればその予定もずれる。
- (事務局)運用面についてご意見、ご要望はないか。
- (委員)一番最初に出された案(図面)が出されているが、それ以降に意見を反映して変わった点ないのか。補助事業で内容が決まっているので変更出来ないということか。意見を反映させることができないのか。
- (事務局)皆さんからいただいた意見を含んでいると思っている。買い物の場、カフェ、憩いの場など。
- (委員)買い物、交流、情報発信、温泉、憩いの場以外に、不要なものもあるのではないかという話もあったと思うが、その点については変更できないものなのか。畳の場所を設置するなどの、高齢者を対象とした配置など、含めたほうがいいのか。入館も有料なのか無料なのか。
- (事務局)入館は無料。
- (委員)高齢者に配慮したスペースは今後反映することは可能なのか。
- (事務局)その通り。これから設計委託を出すので、そこに反映することになる。新築であれば基本設計・実施設計を別で依頼するが、改修の場合は設計を一括して頼む予定。

(委員)畳の場は3分の一から4分の一のイメージが良いのではないかと思います。

(委員)交流ゾーンの中の4分の一ということか。

(委員)その通り。

(事務局)「和室」を設けることは難しく、可動式や、畳を敷く程度になると思われる。

(委員)そういうイメージで合っている。

(事務局)マルシェも詳細の運用も決まっていないので、それによって広さも変わってくる。

【B-環境】昔ながらの名前や町並みが残っているが、人通りがほとんどないことを話し合った。レトロ街や古い家並みを活用し人を呼び戻す仕掛けをどう創るか。

(事務局)今後、松崎商店街の街並みについてもこの協議会と並行して検討したいということで、予算を計上している。

(委員)どのようなイメージか。

(事務局)よくあるものでいえば、のれんや灯りなど。街並みを整備するため委託事業でソフト部分に予算を組んでいる。

(委員)構想の範囲はどの程度か。

(事務局)細かくはまだだが、生涯活躍のまちの基本計画を策定したので、松崎駅前を中心に商店街全体のイメージだ。

【C-イベント】良いイベントがあるので、イベント回数を増やしたいと話し合った。地域イベントを増やすために、住民主体で進めていくにはどうするか。

(事務局)住民主体の地域イベントについては、協力できるところは協力したい。

(委員)5月末に開催する軽トラ市は、松崎地区区長会、駅前活性化協議会など、民間のパワーが入ったイベントとなっている。

(委員)せっかくこのようなイベントが開催されるので、今後も終わらないように続けていきたいと考えている。

(委員)実行委員会も半数程度は区長会メンバー。出店も松崎1区、長和田婦人会等が参加してくださり、地域おこし協力隊にも協力してもらい、いい形になってきていると感じている。

(委員)軽トラ市のようなことが旧Aコープに移って、人が集まるようになればいいと思う。

(委員)いいと思う。週替わりで団体が毎週開催するとかもいいなと思う。フリマも子ども園から出されるが、チラシで詳細がもっと分かればよかったなと思う。

(委員)今回イベント的なものを開催するが、旧Aコープの中に、常に新鮮なものを置けるなど常設スペースを設けるのが望ましい。

(委員)イベントで終わらずに継続性を持ってできればいいと思う。

(委員)継続していくと、お客さんが続くのか心配だ。催しものをどうしていくのか、アンケートなどをとればいいなと思う。

(委員)無理なく継続できるように、飽きられない様にバリエーションを増やすことが必要だと思う。

(委員)27日だが、実際軽トラで野菜を売るのはどの程度か。

(事務局)とうごう市が2台ほど。

(委員)軽トラ市なので、軽トラが中心にならないといけないと思う。とうごう市が中心になることが望ましいと思う。チラシでみると、本来の軽トラ市とはちょっと違うのではないかと思います。

(委員)近頃、出張販売などする事業者はあるのか。

(委員)あまりない。

(委員)梅やに複数いらしてる。

(委員)鮮魚店など定期的に移動販売をしている人に場を提供してはどうか。

(委員)今回はハード面で労力が必要だった。今後は、もっと少ない人材でできるようにしていくことが望ましい。スペースを用意して自分たちで運営できるようにしていく必要がある。

(委員)今回、旧Aコープを使用するが、整備計画案などは来場者に見せることはないのか。人が集まるタイミングなので、もったいないと感じる。

(委員)情報が開示されているものを提示してもいいかもしれない。

(事務局)案を書いてもらってもいいかもしれない。

(委員)アンケートをとる方法を検討しよう。

【E-温泉】良い温泉があるにも関わらず、それを利用しきれていない。

(事務局)先回の会議でもあったが、温泉管理については東郷温泉管理組合との協議が大前提だ。

(委員)費用的な部分を行政が負担することが可能なのかどうかということが重要だ。

(事務局)例えばイベント等で作った足湯の道具を使用するのであればすぐ対応することは可能だが、常設であれば温泉管理組合との協議が必要で難しい部分がある。

(委員)あそこは近いからすぐに温泉を引けるよと言われた。地権者はJAなので、どこまで許してもらえるのかにもよる。契約の相手である町がどこまで踏み込めるのか。

(事務局)町はJAから建物と駐車場を借りることになる。

(委員)地権者の問題、お金の問題があるので、そこを誰が負担するのか、調整するのか検討する必要がある。

(委員)足湯を作ることについて了解を得ることは可能だ。

(委員)費用対効果を検討する余地はあるかなと思う。

(委員)常設する、ということを前提に聞いている。

(委員)湖畔公園の足湯の環境をよくすることは可能か。

(委員)集客や、駐車場の問題もあるので、旧Aコープと繋げにくい部分がある。

(委員)まちとまちづくり会社とが一緒に考えて、再検討を願いたい。

(委員)費用がどの程度かかるかが大事だ。風変りなものを、というのが案だったと思うが。

(委員)検討だが、まず資金がないとできない。吉岡温泉が今度温泉施設を作るが、2億円の内、7500万が国と県の補助だそう。どこが負担するのかをしっかりと検討しなくてはいけない。

【G-施設】松崎駅、湖畔公園が活用されていないことを話合った。地域の顔である松崎駅を中心にして未活用の施設をどのように活用するか。

(事務局)最初に申し上げたとおり、旧Aコープの内容を詰めていく予定。

(委員)軽トラ市の時にも駐車場がなく、選果場を利用することになっている。逆に言うと、松崎駅前市場をして、旧Aコープの駐車場を使うということも可能だと考えていて、旧Aコープと連携して、コンパクトな形にも出来ると思う。

瑞風も8分間(週2回)停車するので、それも活用できればいいと考えている。

(委員)Aコープの東側を整備できないか。一方通行で、建物も危ない。

(事務局)舗装されていない部分も旧Aコープの敷地部分もある。

【J-人口減少】

(事務局)上記(G)同様、旧Aコープの内容を詰めていく予定。

(委員)先日お試し住宅がオープンしたのでご紹介いただきたい。

(事務局)川上地区のしばらく空家になっていた家屋を町にご寄付いただいて若干改修し、町外でのセミナーを通して、移住したいと考えている人などに体験してもらえるような施設を用意した。最低3日〜1カ月で募集をかけている。土曜日に大阪で実施した相談会でも宣伝をした。近隣では倉吉市、北栄町、琴浦町にもあり、全国各地、地方ではそのような施設を整備している。松崎駅前には新築の整備を考えている。

(委員)全国的にそれで定住につながっているのか。

(事務局)移住のきっかけにはなっている。川上は自然が豊かな場所、松崎駅前はまちなかと、選択していただけるように考えている。お試し住宅と旅館の違いは、布団を常備できないため、利用者にリースしてもらうというところ。移住に興味があるということが求められるが、価格が安く設定されている。

(委員)面白い計画だと思うが、他の地区での整備も考えておられるのか。興味はある。

(事務局)今のところ、川上と駅前だけで進めている。

【K-買い物】買い物をすることは人と人とが接点をもつことであること、新しい人が住める環境を整えることも必要と話し合った。

(事務局)上記同様、旧Aコープの内容を詰めていく予定。

(委員)夢マートのような、という声が上がっている。

(委員)夢マートにも数回話を聞いているが、需要と供給の問題がある。今のところ夢マートは20%を超えるマージンを取っている。旧Aコープでそのような設定をすることは無理なので、調整が必要だ。夢マートのように野菜を大きいまま販売しても買ってもらえるのかどうか等、地域性も違う。顧客もどのような人がくるのかをマーケティングしなくてはいけない。独居の高齢者が近場で買い物ができ、惣菜もグラムで購入できるなど考えている。そういった点が、夢マートとは違う部分だと考えている。それが出来る事業者をどう探すのが問題。今お話を進めている事業者と常設に近い形で話を進めたいと考えている。とうごう市にも話に行っているが、どちらかといえば生きがいできている方が多いので、今まで同様、週1回で進めていただければと考えている。

(委員)若い人もそういう設備があれば買い物すると思う。惣菜であればコンビニでもあるので、生鮮の魚や肉を買いたいと皆期待している。限られた時間に行けないのが今の移動販売の問題だ。

(委員)以前、サカナクワイ屋も地域の放送を利用するよう伝えたが、連絡もなく来なくなってしまった。それでは信用がなくなってしまう。どこまで持ってこれるのが大事。商品を目当てに出向く方がいいのに、不在だと信用がなくなってしまう。

(委員)今は商業放送は禁止されているではないか。

(委員)1区はしているが、有料だ。

(委員)うちも有料だが許可している。

(事務局)買い物は需要と供給のバランスをどうとれるのか。

(委員)家賃がいくらかが不明なので考えにくい。

(事務局)家賃がいくらかでも事業者に入ってもらえるように運営しなくてはいけない。

(委員)全体の意見をマーケティングしなくてはいけない。

【L-既存施設の活用】Aコープは空き店舗になったが、何とか活用できないだろうか話し合った。

(事務局)上記同様、旧Aコープの内容を詰めていく予定。

(委員)1区から買い物に来るとした場合、認知症や身体機能の問題もあり、高齢者が多いので、なかなか通えなくなる。松崎地区全部が旧Aコープに通えるわけではないと思う。そういうことも課題として考

えて行く必要がある。

(委員)循環バスを用意する、軽トラで販売して回るなど検討する必要があると思う。

(委員)その通り。自転車に乗れない方も多いので、検討していきたい。

(委員)そういう方は現状、どうやって買い物されているのか。

(委員)移動販売車の放送を聞いて買う、近所の方に依頼する、生協に持って来てもらうなど。

(委員)高齢者に限らず、足がない人が生協を利用している。センターがなくなって利用される方が増えた。

【L-2 既存施設の活用】 地区の空き家・空き店舗が活用されていないと話あった。

(事務局)松崎商店街の街並みについては、【B-環境】同様、今年度の委託事業で検討していく。

(委員)計画を立てて終えるようなことにならない様にしていただきたい。

(委員)協議会で検討するのか。

(事務局)協議会ではなく、別で委託することになっている。

【N-産業、商業】湯梨浜には梨やしじみがあるが、ばらばらに情報発信している。

(事務局)上記同様、旧Aコープの内容を詰めていく予定。

(事務局)まちづくり会社がふるさと納税の委託事業を受けたところ、震災に対する応援が多い。リピーターも多い。総務省から3割に制限するように通達がでており、ピンチをチャンスに変えていきたい。湯梨浜町は一昨年と比べて昨年はダウンしている。今、少しずつ増やすための仕掛けをしたりしている。4月・5月は3割になることに対しての駆け込みで件数が増えている。

【その他】

(事務局)観光についての戦略提案に対して。総合相談センターの中に観光情報コーナーも設ける予定だ。

(委員)センターを活用した買い物について、1区から旭区までの移動手段を考えなくてはいけないと思う。せっかくAコープを活用するのであれば、みんながそこに向かうような方向を検討しなくてはいけないと思う。買えば荷物になるので、重たくなるとなれば通いづらい。

(委員)シャワー、ロッカールーム、卓球台は常設でないほうがいいと個人的意見として持っている。厨房をもう少し広くして、地域の方が弁当配布などに活用できるようにしてはどうかと考えている。費用対効果を考えて行かなくてはいけない。

(委員)Aコープは出来たとして毎日空いているのか。開いていないと意味がない。

(事務局)まちづくり会社は公設ではないので、採算との折り合いをつけていくしかないと考えている。

(委員)防災拠点については、自主防災会の関係もあるので、公民館・区長会・協議会が協議して検討。

11月12日松崎げんきまつりではイベントを開催する予定だ。

【次回開催】H29.6.28(水)19:00～